

2021年1月8日

各位

会 社 名 日本農薬株式会社

代表者名 代表取締役社長 友井 洋介

(コード: 4997、 東証第1部)

問合せ先 管理本部総務・法務部長 永井 統尋

(TEL. 03-6361-1400)

スマートフォン用アプリケーション「レイミーの AI 病害虫雑草診断」の 診断対象作物拡大のお知らせ

当社は、2020年4月より配信しておりますスマートフォン用アプリケーション「レイミーの AI 病害虫雑草診断」(以下、「本アプリ」)の診断対象作物を、既存の水稲に加え、キャベツ、はくさい、レタス、ブロッコリーおよびねぎへ拡大しましたので、お知らせいたします。

本アプリは、当社と株式会社 NTT データ CCS が共同で開発した AI が作物や田畑に発生する病害虫や雑草を写真から診断し、表示された候補から利用者が選択した防除対象に有効な薬剤情報を提供する、スマートフォン用の防除支援ツールです。本アプリは iOS、Android に対応しており、ダウンロード・利用共に無料です(通信料はお客様の負担となります)。

今回、本アプリが病害虫雑草を診断できる対象作物が拡大したことに加え、新しい機能として、診断履歴を航空写真の地図上に表示する機能や、最大 5 枚までの写真を同時に AI 診断する機能なども実装しております。既に本アプリをダウンロードいただいている場合は、最新バージョンにアップデートすることで、これらの機能を利用することができます。

拡大した作物に対応する農薬に関しては、当社製品に加え、スマート農業を普及させるために連携しております日産化学株式会社、日本曹達株式会社および三井化学アグロ株式会社の3社が販売する製品の情報を提供いたします。

今後とも、機能拡充や診断対象作物追加など、本アプリの改善を行い、スマート農業を通じて生産者の利便性を向上させるソリューションの開発に取り組んでまいります。

詳しくは本アプリに関するサイトをご確認ください。

サイト: https://www.nichino.co.jp/products/aiapp/index.html



以上





レイミーの人【病】

レイミーのAI病害虫雑草診断は、農作物に被害を及ぼす病害虫や雑草を写真から AIが診断し、有効な薬剤情報を提供する、スマートフォン用の防除支援ツールです。























・ドはこちら



または日本農薬ホームページから









■本アプリケーションで使用されているAI診断学習モデルは(株)NTTデータCCSと日本農薬(株)の共同開発です。 ■本システムは農林水産省の農業界と経済界の連携による生産性向上モデル農業確立実証事業「防除支援システム研究会(H30~R1)」の成果を社会実装したものです。

日本農薬株式会社

株式会社 NTTデータ CCS NTTDATA









アプリ ホーム画面

天気予報・いもち病 の発生予測を見る

スマートフォンの位置情 報から現在地の天気予 報や、いもち病の発生予 測を見ることができます

お気に入り薬剤を見る

診断後「お気に入り」に 設定した薬剤を見るこ とができます

履歴を見る

診断結果の履歴が表示 されます

AI診断機能



診断したい対象の 写真を撮りAIで診 断する機能です。 「この対象物を防 除する」をタップす ると対象物に有効 な薬剤も表示され ます。

診断結果を 自信度(%)の高い順から 5つ表示するよ!



診断履歴保存機能



診断結果の履歴を 表示する機能です。 その写真を撮影し た場所を地図上に 表示することも可 能です。

> 後からどこに 病害虫雑草が 発生していたか 確認でき便利!



らどこに

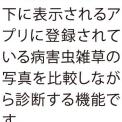
•

•

上に表示される自 分で撮った写真と、 下に表示されるア プリに登録されて

カルテ式診断機能







※画面は開発中のものです

アプリ使用上の 注意事項 ■似ている病害虫雑草間で誤診断する場合があります。■本アプリはあくまで防除の支援のためのツールであり、最終的な診断と農薬使用に関する責任はご利用者様となります。■電波状況によって診断に適さない場合がありますので、撮影後に電波良好な環境で診断してください。■その他アプリに関する利用規約に関してはアプリ内に表示される利用規約をご確認ください。













日本農薬株式会社

東京都中央区京橋1丁目19番8号 ホームページ https://www.nichino.co.jp/